

改修項目および関連事項記載表（統合版）

項目番号：(3)
改修の具体案（概要）
<ul style="list-style-type: none"><li>2013年4月1日（平成25年4月1日）以降、階層化判定およびメタボ判定において使用するHbA1cの検査結果について、従来のJDS値ではなく、国際基準であるNGSP値を使用できるよう対応する。NGSP値用のJLAC10コードも新設する。</li><li>また、2013年度以降の健診結果通知表において、NGSP値とJDS値の両方の値を保持している健診結果については受診結果通知表には両値を隣接して併記可能とする。但し、JDS値の記載欄は将来不要となる可能性があるため、ある年度以降はJDS値の欄を非表示とする。</li><li>.</li></ul> <p>1. システム要件</p> <p>(1) 2013年度以前と以降の健診結果XML登録時の入力チェック、階層化判定およびメタボ判定において、JDS値とNGSP値の取り扱いを以下の通りとする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 階層化判定およびメタボ判定において、平成24年度以前の健診結果はJDS値を利用し、平成25年度以降の健診結果はNGSP値を利用する。</li><li>② 平成24年度以前の健診結果にJDS値が含まれていた場合は、平成24年度中、平成25年度以降にかかわらず、システムに登録され階層化およびメタボ判定に利用する。</li><li>③ 平成25年度以降の健診結果にJDS値は出現してはならない。</li></ul> <p>(2) 階層化およびメタボ判定の血糖判定に使用する優先順位は以下のとおり、空腹時血糖とHbA1cの両方が存在する場合は、空腹時血糖を優先とする。（空腹時血糖、HbA1cグループ内での手法検査方法による優先順位は任意とする。）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■平成24年度以前の健診結果<ul style="list-style-type: none"><li>3D010000001926101：空腹時血糖(電位差法)</li><li>3D010000002227101：空腹時血糖(可視吸光光度法)</li><li>3D010000001927201：空腹時血糖(紫外吸光光度法)</li><li>3D010000001999901：空腹時血糖(その他)</li><li>3D045000001906202：HbA1c(ラテックス凝集比濁法)</li><li>3D045000001920402：HbA1c(HPLC)</li><li>3D045000001927102：HbA1c(酵素法)</li><li>3D045000001999902：HbA1c(その他)</li></ul></li><li>■平成25年度以降の健診結果<ul style="list-style-type: none"><li>3D010000001926101：空腹時血糖(電位差法)</li></ul></li></ul>

<p>3D010000002227101 : 空腹時血糖(可視吸光光度法)</p> <p>3D010000001927201 : 空腹時血糖(紫外吸光光度法)</p> <p>3D010000001999901 : 空腹時血糖(その他)</p> <p>3D046000001906202 : HbA1c(ラテックス凝集比濁法) (NGSP 値) (仮)</p> <p>3D046000001920402 : HbA1c(HPLC) (NGSP 値) (仮)</p> <p>3D046000001927102 : HbA1c(酵素法) (NGSP 値) (仮)</p> <p>3D046000001999902 : HbA1c(その他) (NGSP 値) (仮)</p>	
<p>返戻ルール (案) 等に関する意見</p>	
<p>集合契約については、健診実施日が平成 25 年 4 月 1 日度以降となっている健診結果について、以下の場合は返戻とする。</p> <p>① HbA1c (JDS 値) が記載されていた場合。</p> <p>② 空腹時血糖と HbA1c (NGSP 値) のチェックを行い、どちらの検査値も記載されていない (未実施、測定不能を含む) 場合。</p>	
<p>仕様解説書における変更事項 (スキーマに関する記載も可)</p>	
<p>解説書名、頁、行番号</p>	<p>具体的な記載案等</p>
<p>付属資料 1. OID(オブジェクト ID) 表</p>	<p>(XMLhc08tab.csv)</p> <p>A1C の表記を追加 (OID を決定する必要あり)</p>
<p>電子的な標準様式の仕様に関する資料</p> <p>付属資料 2. XML 用特定健診項目情報</p>	<p>CSV 形式ファイル、PDF 形式ファイルに以下の検査項目を記載する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3D046000001906202 : HbA1c(ラテックス凝集比濁法) (NGSP 値) (仮)</li> <li>・ 3D046000001920402 : HbA1c(HPLC) (NGSP 値) (仮)</li> <li>・ 3D046000001927102 : HbA1c(酵素法) (NGSP 値) (仮)</li> <li>・ 3D046000001999902 : HbA1c(その他) (NGSP 値) (仮)</li> </ul>
<p>手引きにおける変更事項 (各団体から出されている意見)</p>	
<p>頁、行番号</p>	<p>具体的な記載案等</p>
<p>P8:1-3-2</p>	<p>①の『HbA1c が 5.2%以上』を平成 25 年 4 月以降の受診分より新基準 (ヘモグロビン A 1 c が 5.6%以上) とすることを記載。HbA1c が NGSP になることで、基準値も変わる。</p>
<p>P13:図表 8</p>	<p>第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。</p>
<p>P14:図表 9</p>	<p>第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。同上+基準値も。</p>

	(修正前) HbA1c が 5.2%以上 (修正後) HbA1c が 5.6%以上
P16:図表 10、脚注	
	第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。
P21:脚注*2	
	同上+基準値も。※メタボリックシンドローム判定の HbA1c は 5.9%と想定されるが、8 学会基準なので関係学会に確認が必要 (修正前) 国民健康・栄養調査における HbA1c の判定基準値 (空腹時血糖 110mg/dl に相当する値) は 5.5%となっているので、HbA1c のみ検査した場合のメタボリックシンドローム判定としてはこの値を用いる (ちなみに階層化に用いる保健指導判定値である空腹時血糖 100mg/dl に相当する HbA1c の値は 5.2%)。 (修正後) 国民健康・栄養調査における HbA1c の判定基準値 (空腹時血糖 110mg/dl に相当する値) は 5.9%となっているので、HbA1c のみ検査した場合のメタボリックシンドローム判定としてはこの値を用いる (ちなみに階層化に用いる保健指導判定値である空腹時血糖 100mg/dl に相当する HbA1c の値は 5.6%)。
P26:2-4-2①②③	
	(2 段書きの場合) ヘモグロビン A1c (JDS 値) ヘモグロビン A1c (NGSP 値)
P66:脚注	
	第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。
	注釈 「血糖検査は空腹時血糖又は HbA1c (NGSP 値) となっているが、空腹時血糖が優先であり、HbA1c (NGSP 値) は主として空腹時血糖が測定できない場合に (食事等を摂取した場合、空腹時における採血が可能な別の日に再度健診機関にきてもらうような不便を受診者に強いるのではなく) 測定するものであることから、特に集合契約においては、受診者全員に実施することを前提とし、一律に HbA1c (NGSP 値) の測定を必須とした高い契約単価とすることは適当ではない。」
図表 1: 特定健康診査受診結果通知表*(様式例)	

	「JDS」「NGSP」の欄を追加する。 ※表示する項目に変更が無い場合は修正不要
付属資料7 P9	
	HbA1cの項目を差し替え
政省令、通知等における変更事項（各団体から指摘されている箇所）	
名称等、条項番号等	具体的な記載案等
保発第0310001号	第1の1(2)イ、2の(5) 第1期はJDS、第2期(平成25年度)からNGSPと加筆。
保発第0710003号	2 内臓脂肪症候群に関する事項 (1)エの『ヘモグロビンA1c 5.5%以上』を平成25年4月以降の受診分より新基準(ヘモグロビンA1cが5.9%以上)とすることを記載。※5.9%でよいか8学会基準の関係学会に確認必要。 健診結果・質問票情報に追記。 欄外に、平成25年度以降は、『血糖検査は空腹時血糖とHbA1cのNGSP値のいずれかの項目の報告で可』であることを記載する。 ・3D046000001906202: HbA1c(ラテックス凝集比濁法)(NGSP値)(仮) ・3D046000001920402: HbA1c(HPLC)(NGSP値)(仮) ・3D046000001927102: HbA1c(酵素法)(NGSP値)(仮) ・3D046000001999902: HbA1c(その他)(NGSP値)(仮)
保発第0710003号	「健診結果・質問票情報」にNGSP値の項目が必要となる。 記載案 ・新規追加したNGSP値のJLACコードを追加 項目コード、項目名以外は既存のHbA1cの項目と同内容
健発第0310007号 保発第0310001号 P3	具体的な検査の記述を修正する。
健発第0310007号 保発第0310001号 別紙1 様式例	ヘモグロビンA1cについて、平成25年度以前以後にてJDS値・NGSP値での表記の違いがあることの明記化が必要。
健発第0519004号 保発第0519001号 P9 別添3	HbA1cについて、平成25年度以前以後にてJDS値・NGSP値での違いがあることの明記化が必要。
基発第0117001号 保発第0117003号 P3	事業主への協力依頼を出す場合は変更についても通知が必要。

健発第 0328024 号 保発第 0328003 号	9 頁目の『健診結果・質問票情報』にヘモグロビン A 1 c (NGSP 値) を追加。項目にマーカーを付け、欄外注意書きに 25 年度の健診から使用と記載する。JDS 値にもマーカーを付け、25 年度以降記載不可と記載する。 記載案 ・ 新規追加した NGSP 値の JLAC コードを追加
厚生労働省告示第四号 P1	二-ア "ヘモグロビン A 1 c が 5.2%以上"という記述について、"ヘモグロビン A 1 c (NGSP 値)の値は 5.6%以上(平成 25 年 3 月 31 日以前受診分(ヘモグロビン A 1 c (JDS 値))の場合 5.2%以上)"に記載変更。
厚生労働省告示第八号 P1	"ヘモグロビン A 1 c が 5.2%以上"という記述について、"ヘモグロビン A 1 c (NGSP 値)の値は 5.6%以上(平成 25 年 3 月 31 日以前受診分(ヘモグロビン A 1 c (JDS 値))の場合 5.2%以上)"に記載変更。
Q & A 等からの反映事項 (各団体から出されている意見)	
Q & A 区分、番号	具体的な反映すべき事項案等
1-②-24,33,35,36,37	回答欄の『HbA1c5.2%』を平成 25 年 4 月以降の受診分より新基準となる旨を記載。
1-④-14	第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。
1-⑥-5	質問・回答欄にある『HbA1c5.5%』を平成 25 年 4 月以降の受診分より新基準となる旨を記載。
1-⑥-6	質問・回答欄にある『HbA1c5.5%』及び『HbA1c5.2%』を平成 25 年 4 月以降の受診分より新基準となる旨を記載。
1-⑥-12	第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。基準値も。
5-①-31,32	第 2 期から NGSP に切り替えられない機関は、委託基準から外す。
6-①-9	第 1 期は JDS、第 2 期 (平成 25 年度) から NGSP と加筆。基準値も。 併せて、紙ベースでの受け取りの際には、NGSP か否かを確認する必要があることも明記する。
1-②-24、 1-⑥-5、6	「HbA1c5.2%」 → 「HbA1c5.6%」 「HbA1c5.5%」 → 「HbA1c5.9%」

別紙1

(ヘモグロビンA1c 1行表示例)

### 特定健康診査受診結果通知表

カナ氏名	ケンポ タロウ	生年月日	昭和40年12月31日	健診年月日	2014年07月10日
		性別/年齢	男 / 49歳	特定健康診査 受診券番号	14100000001

既往歴			
服薬歴		喫煙歴	
自覚症状			
他覚症状			

項	目	基準値	今回	前回	前々回
			2014年07月10日	2013年06月10日	2012年07月20日
身体計測	身長(cm)		170	170	170
	体重(kg)		58	58	58
	腹囲(cm)		85	85	85
	B M I		25	25	25
血圧	収縮期血圧(mmHg)	128~139	160	139	140
	拡張期血圧(mmHg)	62~82	84	80	84
血中脂質検査	中性脂肪(mg/dl)	30~139	150	150	150
	HDL-コレステロール(mg/dl)	40~99	40	40	40
	LDL-コレステロール(mg/dl)	70~139	100	100	100
肝機能検査	G O T (IU/l)	0~45	40	40	40
	G P T (IU/l)	0~40	40	40	40
	γ - G T P (IU/l)	0~55			
血糖検査 <small>(いずれかの項目の実施で可)</small>	空腹時血糖(mg/dl)	70~109			
	ヘモグロビンA1c(%)	4.3~5.6	6.0	5.5 ☆	5.3 ☆

※ヘモグロビンA1c検査の結果値はNGSP法による検査結果値が記載されていますが、☆が併記されているものは、JDS法による検査結果値のため基準値が異なります。(JDS法基準値3.9~5.2)

(ヘモグロビン A1c 2行表示例)

### 特定健康診査受診結果通知表

カナ氏名	ケンポ タロウ	生年月日	昭和40年12月31日	健診年月日	2014年07月10日
		性別/年齢	男 / 49歳	特定健康診査受診券番号	1410000001

既往歴			
服薬歴		喫煙歴	
自覚症状			
他覚症状			

項	目	基準値	今回	前回	前々回
			2014年07月10日	2013年06月10日	2012年07月20日
身体計測	身長(cm)		170	170	170
	体重(kg)		58	58	58
	腹囲(cm)		85	85	85
	B M I		25	25	25
血圧	収縮期血圧(mmHg)	128~139	160	139	139
	拡張期血圧(mmHg)	69~82	84	80	80
血中脂質検査	中性脂肪(mg/dl)	30~139	150	150	150
	HDL-コレステロール(mg/dl)	40~99	40	40	40
	LDL-コレステロール(mg/dl)	70~139	100	100	100
肝機能検査	G O T (IU/l)	0~45	40	40	40
	G P T (IU/l)	0~40	40	40	40
	γ - G T P (IU/l)	0~55			
血糖検査 <small>(いずれかの項目の実施で可)</small>	空腹時血糖(mg/dl)	70~109			
	ヘモグロビンA1c (NGSP法) (%)	4.3~5.6	6.0	5.9	
	ヘモグロビンA1c (JDS法) (%)	3.9~5.2		5.5	5.3